



横1.2m、縦12mの大きな幟は、吉田氏にとって22本目の作品となりました

天高くそびえる^{のぼり}幟に入魂

書家 ^{よし たけとし} 吉田武利氏

10月19日、蓮沼スポーツプラザ（しおさい館）で、書家吉田武利氏（93歳）による、蓮沼中下区幟旗の筆入れが行われました。

毎年、夏と秋の祭りに立てる大幟旗は強い海風のため、25年前のものが切れてしまいました。そこで、同じ作者の吉田氏に依頼の運びとなったものです。

墨で書いた字がにじまないよう、事前に大豆の汁を塗り“ゴマ書き”という黒ゴマで字を下書きする作業は重労働です。

参加者全員にお神酒が振舞われた後、いよいよ筆入れ。「えいっ」と気合を入れ、一字一字に力が入ります。「字を書く時は真剣勝負、間違いは許されない。昔の武士と同じだ」と話していました。また、「背丈ほどの筆は大変重く、紙に書くのとは違って滑りませんから、畑に鍬を入れるくらい力が要るんですよ」と手伝いに来ていた息子の修さんにも力が入ります。

書き終えた字の大きさは、一番上が1.8m、一番下にくると1.0mになっていました。天高くそびえ立つ大幟旗は、遠近法により字の大きさを徐々に小さくなるよう考えて書かれています。この大幟旗は来年の夏まつりから揚げられ、この地を見守りつづけます。

芸能発表で盛り上がる会場

成東地区芸能発表会

11月に入り、成東、山武、松尾地区ではそれぞれ芸能発表会、作品展示会が催され、大勢の皆さんが芸術の秋、文化の秋を堪能しました。

3日の文化の日は成東地区の芸能発表が、成東文化会館で行われました。舞踊、カラオケ、民謡、社交ダンスなど94演目の芸能に盛んな拍手が送られました。中でもゴールドクラブから参加の渡辺昭さんは、舞踊「お吉」で出演。観客席まで降りての熱演に笑いと拍手が渦巻いていました。



熱演中の「お吉」



プラザ前の広場いっぱいに咲き誇る菊の花々

咲き誇る菊の花

山武市菊花愛好会

11月3日から9日まで、成東文化会館を会場に菊花展が開かれました。プラザ前の広場には大輪菊、だるま、福助など、手塩にかけて育てた菊鉢300点を展示。多くの皆さんの眼を楽しませてくれました。

特別賞は次の方々です。（敬称略）

◎市長賞／菊花愛好会会長賞

佐瀬 江平

◎教育長賞／議会議長賞／のぎくプラザ館長賞

山口 公平